

Delphixの活用と効果

高速マスキング

重要データ (個人情報等) → DELPHIX → マスク済みデータ

情報漏えい対策に!

- ✓ よりリアルなデータへのマスキングを実現
- ✓ マスクされたデータは解読困難なので安全
- ✓ 社内はもちろんオフショア開発などにも有効

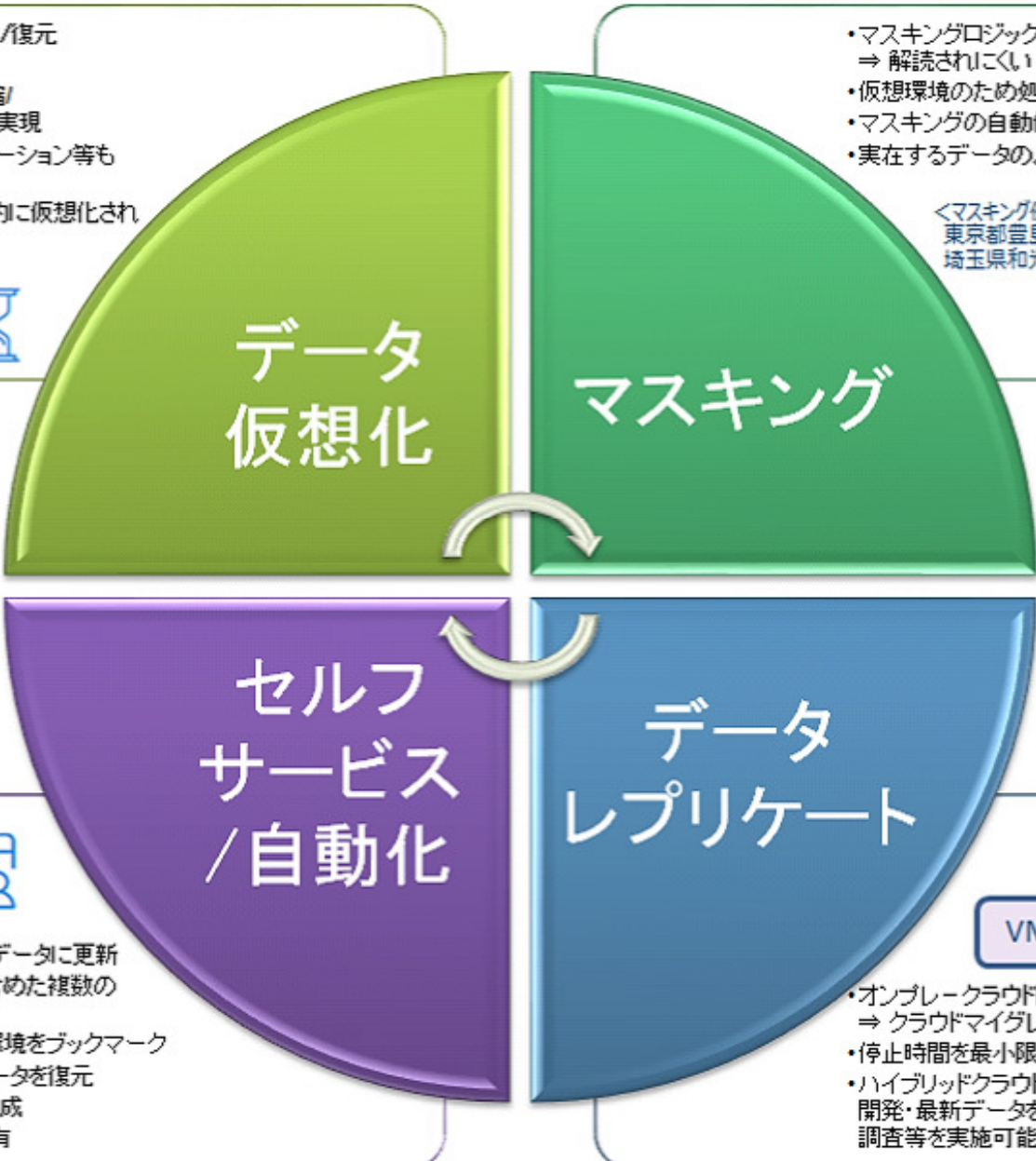
従来環境 vs **Delphix 導入環境**

環境作成の時間短縮

- ✓ 工期短縮 ⇒ データ量/作業頻度が多いほど効果的
- ✓ 変更手続きの負荷軽減 ⇒ 申請/承認手続きを簡略化
- ✓ ストレージ容量削減 ⇒ コスト削減

データ環境を仮想化し
短時間でデータを複製/復元

重要データをマスキングし
非本番環境へ安全にデータを提供



データ仮想化

- 比較的短時間での環境のコピー/復元
 - 各データ環境を容易に管理
 - 障害発生時の復旧時間の短縮/障害箇所の特定/再現テストを実現
- データベースだけでなくアプリケーション等もグループ化して仮想化
- 圧縮・重複排除機能により効率的に仮想化されストレージを有効に活用

マスキング

- マスキングロジックは固有かつ複数パターンを提供 ⇒ 解読されにくい
- 仮想環境のため処理が高速
- マスキングの自動化にも対応
- 実在するデータのようにマスキング

<マスキング例>
 東京都豊島区南池袋 → 大阪府品川区高井戸
 埼玉県和光市白子 → 愛知県白戸市東王子

Q. Delphix を使うことでどうしてデータベースのコピーや元戻し等の処理が高速になるのでしょうか?

A. Delphix はデータ環境を仮想化することで各処理を高速に実行できます。また、セルフサービスや自動化と組み合わせると人手の手間を軽減される効果があります。

Q. 他のマスキングツールと比較した場合の Delphix のメリットは何でしょうか?

A. データ環境の複製にかかる時間の短縮によりトータルの処理時間が高速化される。マスキングロジックが複雑なため安全。操作が容易な点です。

Q. セルフサービス化されることでどんなメリットがありますか?

A. インフラ担当者への依頼なしで、データの元戻しや複製等のデータ操作やアプリケーションとデータを合わせたバージョン管理を個人やチーム単位で実施できるようになります。また、変更手続きを簡略化し、手間を削減することができます。

Q. Delphix はパブリッククラウドでも利用できますか?

A. 現在、AWS、MS AzureおよびVMware ESXi 環境に対応しています。利用用途はクラウド環境へのシステム移行やハイブリッドクラウド環境におけるクラウド環境での開発 (オフショア開発なども可能)、ビッグデータ分析など多岐にわたります。

セルフサービス/自動化

- 仮想DB等を各自で最新の本番データに更新
- アプリケーションや各種設定を含めた複数のテストデータをバージョン管理
 - 時間を指定して、特定データ環境をブックマーク
 - 特定時点やブックマークへデータを復元
 - 時間を指定し、新しい環境を生成
- チーム内でデータのコピーを共有

データレプリケート

VMware, AWS EC2, MS Azure

- オンプレクラウド間でデータをレプリケート ⇒ クラウドマイグレーションを促進
- 停止時間を最小限に抑えたマイグレーションを実現
- ハイブリッドクラウド環境におけるクラウド側での開発・最新データを使用した分析・本番環境の問題調査等を実施可能

インフラ運用 : 作業効率化

開発・テスト : セルフサービス化

- ✓ インフラ担当者の負荷を軽減
- ✓ 開発担当者はセルフサービスツール (Jet Stream) を用いて周囲に影響を与えずに自由にデータ環境を操作
- ✓ 開発環境を増やして開発スピードと品質を向上

利用者がそれぞれ自由にデータ操作
自動化ツールと組み合わせた運用自動化

クラウド移行時やハイブリッドクラウド環境
において容易にデータを同期

ビジネスをスピードアップ!

